

(2) 事業内容

○医療機関：オンライン診療に必要な情報通信機器等の購入に係る経費に対して補助する。

○訪問看護ステーション：在宅患者のオンライン診療の補助に必要な情報通信機器等の購入に係る経費に対して補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

「清流の国ぎふ」創生総合戦略において、「将来の医療需要に応じた病床の配置や対面診療とオンライン診療を組み合わせることなどにより、効率的で効果的な地域医療提供体制の構築を推進する」こととしており、岐阜県DX推進計画（R4.3 策定予定）においてもオンライン診療の推進が位置付けられている。医療資源の乏しい中山間地での活用や、新型コロナウイルス感染者の増加予防等が期待されるオンライン診療に要する経費を県が負担することが妥当である。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	21,200	オンライン診療実施に必要な情報通信機器等の購入に係る経費
役務費	80	郵送料・電話料
需用費	20	消耗品等
合計	21,300	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県DX推進計画（R4.3 策定予定）

医療分野のDX政策の方向性と主な施策として、オンライン診療の推進が位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

国においては平成30年3月、オンライン診療に関するガイドライン策定。

また、「経済財政運営と改革の基本方針2018について（骨太の方針）」においては、服薬指導を含めた「オンラインでの医療」全体の充実に向けて、次期以降の診療報酬改定における有効性・安全性を踏まえた評価、医薬品医療機器等法の改正の検討など所要の制度的対応も含めて、ユーザー目線で、現状を更に前進させる取組を進める、とされている。

また、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月7日閣議決定）において、「新型コロナウイルス感染症が急激に拡大している状況の中で、院内感染を含む感染症防止のため、非常時の対応として、オンライン・電話による診療、オンライン・電話による服薬指導が希望する患者によって活用されるよう直ちに制度を見直し、できる限り早期に実施する」とされ、「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（厚生労働省通知）により、オンライン診療の初診制限等の時限的・特例的緩和措置が取られている。

隣県の愛知県においては、国家戦略特別区域制度を活用した薬剤遠隔指導事業（オンライン診療が行われた場合に、対面でなく、テレビ電話装置等を用いて服薬指導を行うこと）を実施。

また、三重県においてはオンライン受診勧奨（情報通信機器を通して患者の診察を行い、受診すべき適切な診療科を選択するための最低限の医学的判断を伴う受診勧奨のこと）の事業化を進めている。

(3) 後年度の財政負担

オンライン診療の実施実績を検証し、必要に応じて検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県直轄で実施。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 オンライン診療に携わる医療機関及び訪問看護ステーションの増加を図る

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元年)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① オンライン診療料の施設基準届出医療機関数	19 (R元10)	154	175	250	260	59.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	県内医療機関に対してオンライン診療に必要な情報通信機器（パソコン、タブレット、カメラ、マイク等）の整備購入に係る経費の補助を実施。125医療機関が補助制度活用し、オンライン診療料の施設基準届出医療機関数も増加しており、オンライン診療の普及が見込まれる。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【○○課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	